

8 多義語

p.114

8-1 解説

多義語

使われ方によって、いくつもの意味を持つ言葉。

「足」

- ① 体を支えたり歩いたりする部分。 [例] 足にけがをする。
- ② 道具の支えになる部分。 [例] いすの足が外れる。
- ③ 走ること・歩くこと。 [例] 足が速い選手。
- ④ 物事の動きや変化。 [例] 刺身は足が早い。(= くさりやすい)
- ⑤ 移動手段としての乗り物。 [例] 足の便が良い。(= 行きやすい)

※①が本来の意味、②は形が似ているもの、③～⑤は本来の意味から発展した比喩的な意味。

「見る」

- ① 目の働きで物の形などを知る。 [例] 窓の外を見る。
- ② 判断する。 [例] 人を見る目がない。
- ③ 世話をする。 [例] 妹の面倒を見る。
- ④ 経験する。 [例] 痛い目を見る。
- ⑤ 動作や作用が実現する。 [例] 完成を見る。

◎ 多義語の意味は、前後の言葉や、文の中での使われ方から判断する。